

1 M小スタートカリキュラム・全体構想のねらい

- ・児童が幼児教育の学びを基盤とし、新しい学校生活に主体的に自己を発揮していこうとする。
- ・児童が安心して小学校生活を送ることができるよう、自分づくり、かかわりづくり、楽しい学びづくりを包摂したスタートカリキュラムとする。

2 スタートカリキュラム

- ・幼児期の体験や保育所での遊びや生活等、これまでの学びの連続性を意識したカリキュラムを作成する。
- ・安心して学びを広げることができるように学習環境を工夫するとともに、生活科を中核として合科的な指導の充実を図る。
- ・作成に当たり、「自分づくり」「かかわりづくり」「楽しい学びづくり」の3点を意識する。

【スタートカリキュラムの概要】

<第1週> **安心・慣れる**

児童の不安をやわらげ、わくわくした思いを感じさせるよう、まず担任と話すことで安心感をもたせる。教室環境や学校の1日の過ごし方に慣れること、給食や清掃の仕方を理解するなど、これから始まる学校生活についての学びを中心とする。音楽に合わせた学習を生かし、学習の楽しさを感じさせることにつなげる。

<第2週> **かかわりづくり**

学校生活に慣れ、学校生活の場が広がる。体育館、グラウンドで友達や担任と楽しく遊ぶ。また、6年生が1年生に言葉かけをするなどの支援をすることで、朝の準備を進める頃となる。1年生は、朝の準備の仕方を教えてもらうことで、6年生と仲良くなり、休み時間に一緒に遊んでもらうなど、学校生活に慣れてくることが期待される。

<第3週> **楽しい学びづくり**

少しずつ学習活動が進んでいる頃となる。国語では音読やひらがなの学習が始まり、掛け図等のイラストから感じたことを話したり友達の話を聞いたりする。また算数では、おはじきを使用するなど操作的な学習も始まり、教科書を利用した学習を進める。教師と一緒に音読し、声に出して学習を進める。個人差も出てくる頃で、授業にモジュールを取り入れ工夫する。

<第4週> **自分づくり**

一日の学校生活に慣れてくる時期で、遠足や集会のある週となる。行事を通して、学校生活の楽しさ、友達とのかかわりが広がる時期でもある。同時に、宿題など家庭との連携を進める。一方、学校生活になじめない児童への支援、家庭との連絡も進めていく。

	第1週	第2週	第3週	第4週
国語	こくご びらき 話の聞き方 さあ はじめよう	どうぞよろしく 名前を書こう	あさのおひさま ききたいな 友達のはなし	はなのみち 音読、発声
算数	なかまづくりと数	なかまづくりと数	なかまづくりと数	なかまづくりと数
生活	がっこう だいすき ・新しい生活かんきょうになれる ・ともだちと学校たんけんをしたい ・みんなとなかよくなりたい ・きれいにさいてね「アサガオの種をかんさつしよう」			
音楽	音楽に合わせて体をうごかさう		歌っておどって なかよくなろう はくを かんじとろう	
図工		すきなものいっぱい にここにおひさま	いろいろならべて	ねん土となかよし
体育	体ほぐしあそび	鉄棒あそび		かけっこ
道徳		みんなで楽しく	あいさつでげんきに	みんなで守ろう
特別活動	入学式	身体計測	遠足	おめでとう集会に向けて
		1日の学校生活 ・朝・帰りの準備、授業中のしせい ・トイレの使い方、給食の食べ方 など		学級のめあてをきめよう

・・・中心となる教育活動

自分づくり

- ・初めての小学校生活を安心してスタートできることを心がける。小学校生活への期待と不安があるため、初めての教育活動である入学式に元気よく参加できるよう、担任の先生と安心してかかわることができるような支援を大切にす。また、朝の会で、1日の流れを意識して過ごすよう心がけ、学校生活に少しずつ慣れるようにする。

かかわりづくり

- ・教師と児童、児童同士がかかわるような学習活動を意識する。意図的なペア・グループ学習を取り入れたり、みんなで楽しむ内容を織り込んだりしながら、かかわることの楽しさを味わわせる。また、6年生と一緒に遊んだり、給食を食べたりするかかわりをもつことで、安心して学校生活を過ごすよう心がける。

楽しい学びづくり

- ・授業では、掛け図、大型テレビなど、視覚支援を使用しながら教科書を中心とした学習を進める。また、学びの楽しさを感じさせるとともに、教師と児童、児童同士のかかわりを意図的に設定するなど、人間関係づくりも一体的に行う。随所に操作的、体験的な活動を取り入れる。